

公益社団法人日本新体操連盟

令和元年度第3回理事会議事録

1. 会議名： 令和元年度第3回理事会
2. 日時： 令和2年1月16日（木）18時30分～19時25分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館」
4. 構成員現在数： 15名
5. 出席役員： 二木 英徳（会長）石崎 朔子（副会長）熊谷 正儀（副会長）
関田史保子（副会長）池田真喜子（専務理事）渡辺 守成（常務理事）
秋山エリカ（理事）崇島 慎一（理事）橋本 千波（理事）
藤原 英則（理事）宮嶋 泰子（理事）守永 直人（理事）
小島浩二郎（監事）
以上 13名
6. 欠席役員： 山崎 浩子（常務理事）谷口 裕代（理事）谷原 誠（理事）
村田 愛子（理事）
以上 4名
7. 議案：
報告事項
報告事項1 2019年度途中事業報告（定款第4条関連事項）
決議事項
第1号議案 2020年度事業計画について（定款第4条関連事項）
第2号議案 団体選手権全日本出場権について（定款第4条関連事項）
第3号議案 その他
8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

（公社）日本新体操連盟・定款第30条第2項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第32条により、議長は議事録署名人を二木会長、小島監事、関田副会長、崇島理事にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第31条の定めにより、理事会出席者数が13名であることが池田真喜子専務理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、池田真喜子専務理事が進行を務めるよう依頼した。

(5) 議決事項

報告事項1 2019年度途中事業報告（定款第4条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. クラブ選手権

高崎アリーナにて8月16日～18日かけて行われた。252クラブ 756名と昨年より増加であった。

2. 団体選手権

高崎アリーナにて8月30日～9月1日にかけて行われた。232クラブ 1327名の参加となった。徒手の部を開催し、多くの参加をいただいた。

3. イオンカップ

高崎アリーナにて10月25日～27日にかけて行われた。21クラブ 63名の参加となった。

二木会長 昨年も高崎で人数が増えたとは場所は関係ないと思う。

池田理事 他の大会の兼ね合いで出場が変わる印象だ

第1号議案 2020年度事業計画について(定款第4条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

来年は東京オリンピックが開催され、日程が変則的になる。クラブ選手権が6月に開催。7月にオリンピックがあり、1か月後の9月初めにイオンカップを五輪会場と同じ有明体操競技場で行う。10月に団体選手権を高崎アリーナで、2月にチャイルド選手権を東京体育館で開催する。

以上の後、質問もなく、第1号議案「2020年度事業計画について」は提案のとおり、全会一致で承認可決された。

第2号議案 団体選手権全日本出場権について(定款第4条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 日本体操協会が、全日本クラブ団体選手権から、全日本選手権への出場権が4枠から、2枠へ減少する案が出ている。理由は、大学生チームと高校生チームのバランスを整えるため。
2. 昨年の成績等を調査すると、実力上位のチームを削り、下位のチームを出場させることとなる。

(質疑・意見)

関田副会長 ユニバーシアードへの出場権を考えての提案であった。

渡辺常務理事 大学生枠を6から8に変更すればよいだけ。

関田副会長 時程の問題もあったと思う。全日本の内容の薄さも問題もあった。数年単位で見直しを検討している。高校生を出さないとの理由というわけではない。

池田専務 単純に日本のトップを決める大会で、インカレに12チームしか出ていないのに8チームが出るのは多すぎると思う。上位2チームはインターハイとクラブ団体両方で出場権を得ている。

崇島理事 大学生と高校生がアンバランスというのが理由だが、本当にアンバランスかわからない。ユニバーシアードを理由にするなら、インカレをユニバーシアードの予選に寄せた方がよい。クラブ連盟として、この提案を受けることは裏切り行為と思う。

関田副会長 以前から問題だったが、決め場所がなく全日本でユニバー出場チームを決めている。

崇島理事 この提案だと全日本の内容がより薄くなってしまう。

関田副会長 本連盟としてはクラブ団体の枠の4枠維持を求めることとした方がよい。

池田専務 インカレから12チームから8チームは多くないのか？

渡辺常務 それは日本体操協会の内容となる。

宮嶋理事 総数を18にすることなどを日本協会への意見に加えた方がよい。

以上の後、第2号議案「団体選手権全日本出場権について」はクラブ団体選手権からの出場権4枠を維持することの要望書を提出することで、全会一致で承認可決された。

第3号議案「その他」について

議長はその他について、議場に諮った。

(質疑・意見)

宮嶋理事 クラブの指導者に女性の成長健康について説明案内書面を作成するために

医師に依頼したいと思うが、内容をどの程度にしたらいいか。
池田理事 案内程度でよいのではないか。
宮嶋理事 書面を医師に書いてもらうのに2、3万円かかると思うが費用を捻出することはできるか？
池田理事 案内であれば、事務局で作成することもできる。
渡辺常務 講師ありきであればおかし。講師をだれにするのかを含めて、内容を機関決定する必要がある。
石崎副会長 新体操連盟が率先して、女性の身体について提案するのは良いことだと思う。内容を吟味して進めていくのは良い。
二木会長 総論賛成。具体的にどうするか検討をしたらい。
秋山理事 無理なダイエットなどする指導者がいることは確か。新体操を辞める理由にもなっている。指導者に情報を提供することは有意義
橋本理事 技術の次に、必要な部類になってくる。自分は選手とコミュニケーションに苦労した。子供から大人に変わる変化の内容を知っていることは良いことだ。
守永理事 指導者に需要はあるのか？
橋本理事 多くのコーチは無知だと思う。経験が必要。情報を提供することに意味がある。義務付けもありかと思う。
池田専務 コーチ認定制度の検討もあり、保留になっていた。
宮嶋理事 子供たちは成長しているので、早急な対応が必要だと思う。
二木会長 タレントで若いころ新体操しているタレントが多い。
秋山理事 本当に指導者が受けたいかどうかは疑問に思う。認定とかが必要とも思う。
宮嶋理事 柔道の場合はパワハラなどあると一気に資格停止となる。

二木会長 オリンピックでも新体操団体の活躍が期待される。イオンカップに団体戦を検討しては。
池田専務 団体は世界選手権の後に解散してしまう。過去に呼ぼうとしたら解散していた。
二木会長 個人より団体の方が一般は興味があるのでは。
渡辺常務 個人は個人でやり、団体は別大会ではやるのは。春開催は難しいのでは。
守永理事 体操のW杯が参考になるのでは。
渡辺常務 2021からルールが変わる。そこで検討してもよいのでは。
関田副会長 ルールはたくさん検討している。今は変更すべき時期に来ている。
藤原理事 機械で判定も行っているが、人が判断するところも残している。

以上の後、第3号議案「その他」については、女性の健康については事務局で預かり案を練ることで、イオンカップ団体大会は別途検証することが、全会一致で承認可決された。

(6) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事及び指名議事録署名人は次に記名押印する。

令和2年1月16日

議事録署名人（代表理事） 二 木 英 徳

議事録署名人（監事） 小 島 浩二郎

議事録署名人（指名） 関 田 史保子

議事録署名人（指名） 崇 島 慎 一